

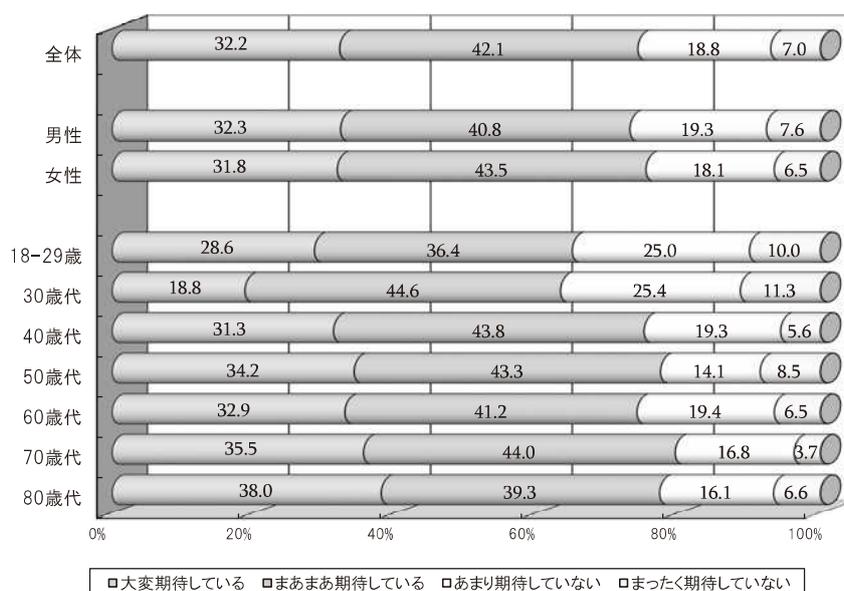
基本目標Ⅳ

スポーツによる地域の元気づくり

(1) 国際スポーツ大会等の誘致

■ 現状と課題

- ・ 県内には、大分スポーツ公園総合競技場や県立武道スポーツセンターなど、様々な優れたスポーツ施設が整備されています。
- ・ 本県では、これまで2002FIFA ワールドカップやラグビーワールドカップ2019を誘致・開催した実績を有しており、毎年、大分国際車いすマラソン大会や別府大分毎日マラソン大会などの国際スポーツ大会等を開催しています。
- ・ 本県では、東京2020オリンピック・パラリンピックなどの国際スポーツ大会等に参加する陸上競技やフェンシングなどのナショナルチームの事前キャンプを受け入れ、地域住民との交流や情報発信等に取り組んでいます。
- ・ 国際スポーツ大会等の誘致にあたっては、中央競技団体をはじめとする関係諸団体と密に情報を交換し連携する必要があります。
- ・ 本県では、県、市町村、競技団体、観光団体、施設管理者等の関係機関が一体となり、大分県スポーツ合宿誘致推進協議会を設置し、国際スポーツ大会等の誘致に取り組んでいます。
- ・ 本県に誘致した国際スポーツ大会等の情報を積極的に発信するとともに、トップレベルの競技を観戦することにより、県民のスポーツへの関心拡大とスポーツに親しむ機運の醸成を図る必要があります。
- ・ 令和2年度のスポーツ実態調査では、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に対して、県民の74.3%が期待感を抱くなど、関心が高くなっています。



東京2020オリンピック・パラリンピック開催への期待感 成人 (%) 【出典】スポーツ実態調査

■ 施策の目標

国際的なスポーツ大会や事前キャンプ、国内トップレベルのスポーツ大会の誘致に努めます。また、地域との交流によるスポーツの普及や国際交流の促進、国内外への情報発信を図ります。

■ 主な取組

①大分スポーツ公園総合競技場等を活用した国際スポーツ大会等の誘致

大分スポーツ公園総合競技場や県立武道スポーツセンターなどを活用し、国際的なスポーツ大会や国内トップレベルのスポーツ大会の誘致に努めます。

- ・ 関係機関と一体となった国際スポーツ大会等の誘致
- ・ 九州各県と連携した国際スポーツ大会等の誘致



【大分スポーツ公園（左：昭和電工ドーム大分、右：昭和電工武道スポーツセンター）】

②国際スポーツ大会等の事前キャンプの誘致と受け入れ

国内、近隣諸国で開催が予定されている国際的なスポーツ大会の参加国に対する事前キャンプの誘致、受け入れを行います。

- ・ 関係機関と一体となった中央競技団体やナショナルチームの事前キャンプ誘致
- ・ 事前キャンプ誘致に関する支援制度の情報発信

③キャンプ受入国との継続的な交流の推進

ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプの受け入れを一過性のものとせず、継続的な交流に取り組みます。

- ・ 本県でラグビーワールドカップ2019の試合を行った8か国・地域との交流の継続
- ・ 本県で東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプを行う国・地域との継続的な交流の推進



【アジアドリームカップ2019 国際車いすバスケットボール大会】

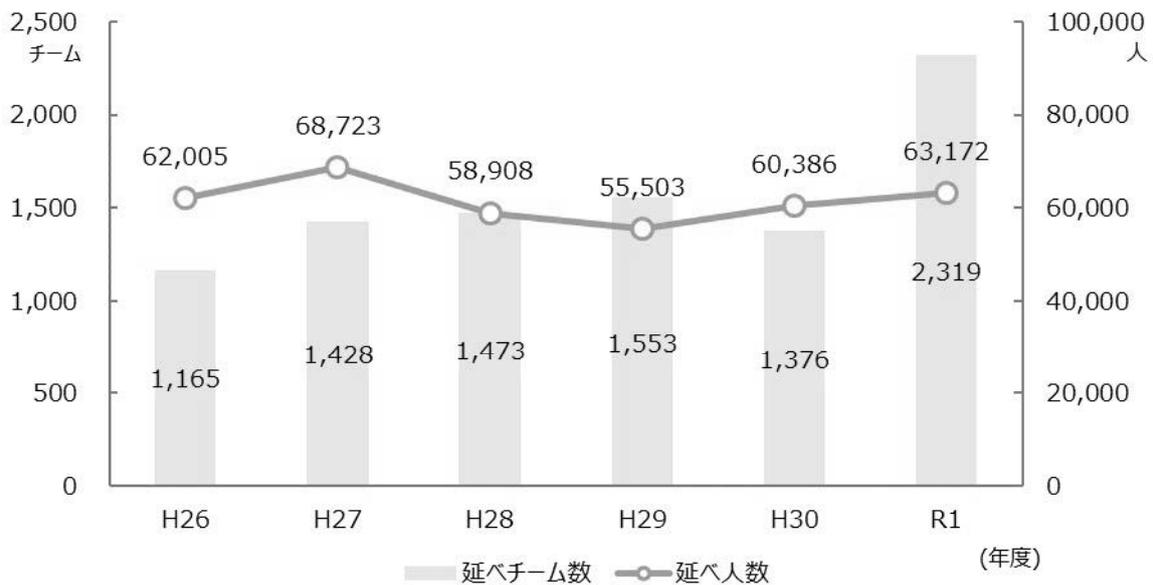


【チェコ柔道代表チーム大分キャンプ】

(2) スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進

■ 現状と課題

- ・本県ではこれまで、ラグビーワールドカップ 2019 などの国際スポーツ大会等を開催し、県民のスポーツへの関心を高め、スポーツによる地域の活性化を図っています。
- ・令和元年度の県内のスポーツ合宿等受入人数は6万人を超えましたが、今後も引き続きスポーツ合宿の誘致を推進する必要があることから、本県では、大分県スポーツ合宿誘致推進協議会を設置し、スポーツ合宿の誘致に取り組んでいます。
- ・スポーツ施設や宿泊施設、観光情報等の一体的な情報発信により、スポーツツーリズムを推進していくことが必要です。



スポーツ合宿等の受入チーム及び人数の推移

■ 施策の目標

関係機関と一体となってスポーツ合宿や国際スポーツ大会等の誘致に努め、スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムを推進します。

■ 主な取組

①国際スポーツ大会等の観戦や県民参加機会の創出

国際的に注目度の高いスポーツ大会やトップチームの合宿を誘致し、地域住民との交流や情報発信を推進します。

- ・国際的なスポーツ大会や国内トップレベルのスポーツ大会誘致と観戦機会の創出
- ・誘致したトップレベルの選手と児童・生徒や地域住民との交流イベントの実施



【青山学院大学陸上競技部
大分合宿での陸上教室】

②市町村と連携した合宿チームへの支援と交流機会の拡大

関係機関と一体となったスポーツ合宿等の誘致及び児童・生徒や地域住民との交流を促進します。

- ・プロ、全国トップクラスの実業団、大学のチーム等の誘致
- ・スポーツ合宿を行うトップチームへの支援
- ・スポーツ合宿を行うトップチームと児童・生徒や地域住民との交流イベントの実施



【ポルトガル陸上競技代表チーム
大分キャンプでの陸上教室】

③まちづくりや地域活性化の核となるスタジアムの実現

大分スポーツ公園総合競技場が本県の地域活性化の核となるよう、魅力度の向上を図ります。

- ・大分スポーツ公園総合競技場の活性化に向けた集客力及び利便性の向上対策の実施
- ・円滑な試合運営を支援するための大分スポーツ公園総合競技場の交通渋滞対策の検討

④スポーツツーリズムの推進

スポーツ施設や国際スポーツ大会等に関する情報をワンストップで提供することにより、スポーツツーリズムの推進を図ります。

- ・県内にスポーツ大会、合宿を誘致するためのスポーツ施設や宿泊施設、助成制度等を紹介するWebサイトの整備

■ 目標指標

| 指標名 | 基準値 | | 実績値 (R1) | 目標値 (R12) |
|---------|-----|---------|-------------|--------------|
| | 年度 | | | |
| 合宿等受入人数 | R1 | 63,172人 | 63,172人 | 90,000人 |

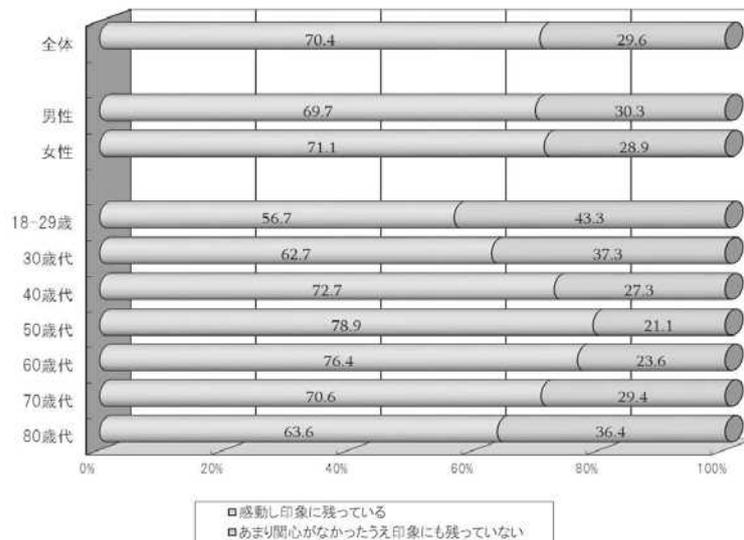


【キャノンイーグルス別府キャンプ（写真提供：キャノンイーグルス）】

(3) ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承

■ 現状と課題

- ・ラグビーワールドカップ2019は、本県で準々決勝を含む5試合が開催され、海外から延べ10チーム、国内外から17万3千人もの観客が訪れ、大分がワンチームとなって大いに盛り上がりました。
- ・令和2年度のスポーツ実態調査では、成人の70.4%がラグビーワールドカップ2019を通じて「感動し印象に残っている」と回答しています。
- ・ラグビーワールドカップ2019で得た「ラグビーの魅力と感動の共有、グローバル人材の育成」や「海外との継続的な交流」などのレガシーを将来に向けてつないでいくことが重要です。
- ・大分スポーツ公園総合競技場内にラグビーワールドカップ2019の大分開催を記念したメモリアルギャラリー※を設置し、大分で試合を行った代表チームユニフォームの展示や大会映像を公開しています。



ラグビーワールドカップ開催の感想 成人 (%) 【出典】スポーツ実態調査



【ラグビーワールドカップ2019日本大会大分開催】

■ 施策の目標

大分県がラグビーの聖地となるよう、ラグビーイベントを積極的に開催するなど、レガシーの継承に取り組みます。

■ 主な取組

①ラグビー文化の定着

ラグビーワールドカップ 2019 の成果を一過性のものとせず、文化として定着するように取り組みます。

- ・ 小学校におけるタグラグビー授業の実施や中学校における拠点型ラグビー部の創設によるラグビー人口の拡大
- ・ 関係団体と連携したタグラグビーイベント等の実施



【九州タグラグビー交流大会】

②大分で試合を行った国・地域とのつながりを活かした取組の推進

ラグビー文化の定着や国内外からの誘客、海外との交流により地域活性化を図ります。

- ・ 本県で試合を行った8か国・地域との交流の継続
- ・ ラグビーモニュメントやメモリアルギャラリー※等を活用した情報発信



【メモリアルギャラリー
(昭和電工ドーム大分)】

③世界トップクラスの国際試合等の誘致

ラグビーワールドカップ 2019 の開催実績を活かし、国際的に注目の高い世界トップクラスの国際試合等の誘致に取り組みます。

- ・ 世界トップクラスの国際試合等の誘致による観戦機会の創出
- ・ 国内トップクラスの試合開催



【ラグビー国際テストマッチで本県を訪れた日本代表（左）とイタリア代表（右）】

第2章 計画推進のために

1 計画の県民への周知

本計画の効果的な推進にあたっては、市町村やスポーツ団体をはじめスポーツに携わるすべての人々が本計画の理念を共有し、具体的な内容の理解を深めるとともに、連携・協働して取り組むことが重要です。

このため、本計画を市町村や関係団体に配布するだけでなく、ウェブサイトや広報誌への掲載を含む様々な機会を利活用して広く発信することにより、県民の皆さんへの周知に努めます。

2 計画の進行管理

本計画に基づく施策の進行管理にあたっては、県教育委員会が中心となり関係機関と連携し目標指標の達成度をはじめ施策の達成状況を把握した上で、P (Plan: 計画立案)、D (Do: 実践)、C (Check: 検証)、A (Action: 改善) のサイクルを機能させる仕組みが必要です。

このため、大分県スポーツ推進条例の規定に基づき、毎年、本計画の項目・指標に関する施策の点検・評価を行い、結果を大分県スポーツ推進審議会に報告します。審議会の意見を踏まえ施策の拡充や見直し等を行い、スポーツ推進に係る施策の運営効率化と質の向上を図っていきます。

大分県スポーツ推進条例

(推進計画)

第7条 県は、スポーツの推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、その実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「推進計画」という。）を策定するものとする。

6 県は、推進計画の進捗状況について、毎年度、大分県スポーツ推進審議会に報告し、その意見等を踏まえて、計画の効果的な推進に努めるものとする。

3 スポーツを通じた県政の総合的な推進を目指して

第1編の計画の性格でも整理しましたが、本計画は、スポーツの推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画です。そのため、基本目標に沿って、その達成に向けた取組を具体的に整理しています。

しかしながら、第1編の「スポーツの力」でも述べたように、スポーツには、県民生活を向上させるための多様な力が備わっています。県政全般の政策課題解決に向けて、この力を最大限発揮できるよう取り組むことが重要です。

そのため、「大分県長期総合計画～安心・活力・発展プラン2015（2020改訂版）～」との関連性を整理（P54～P55を参照）するとともに、関係機関と情報共有を図り、施策の効果的な推進に向けたスポーツの活用に努めます。

参考資料

【参考】大分県長期総合計画における分野別政策目標一覧

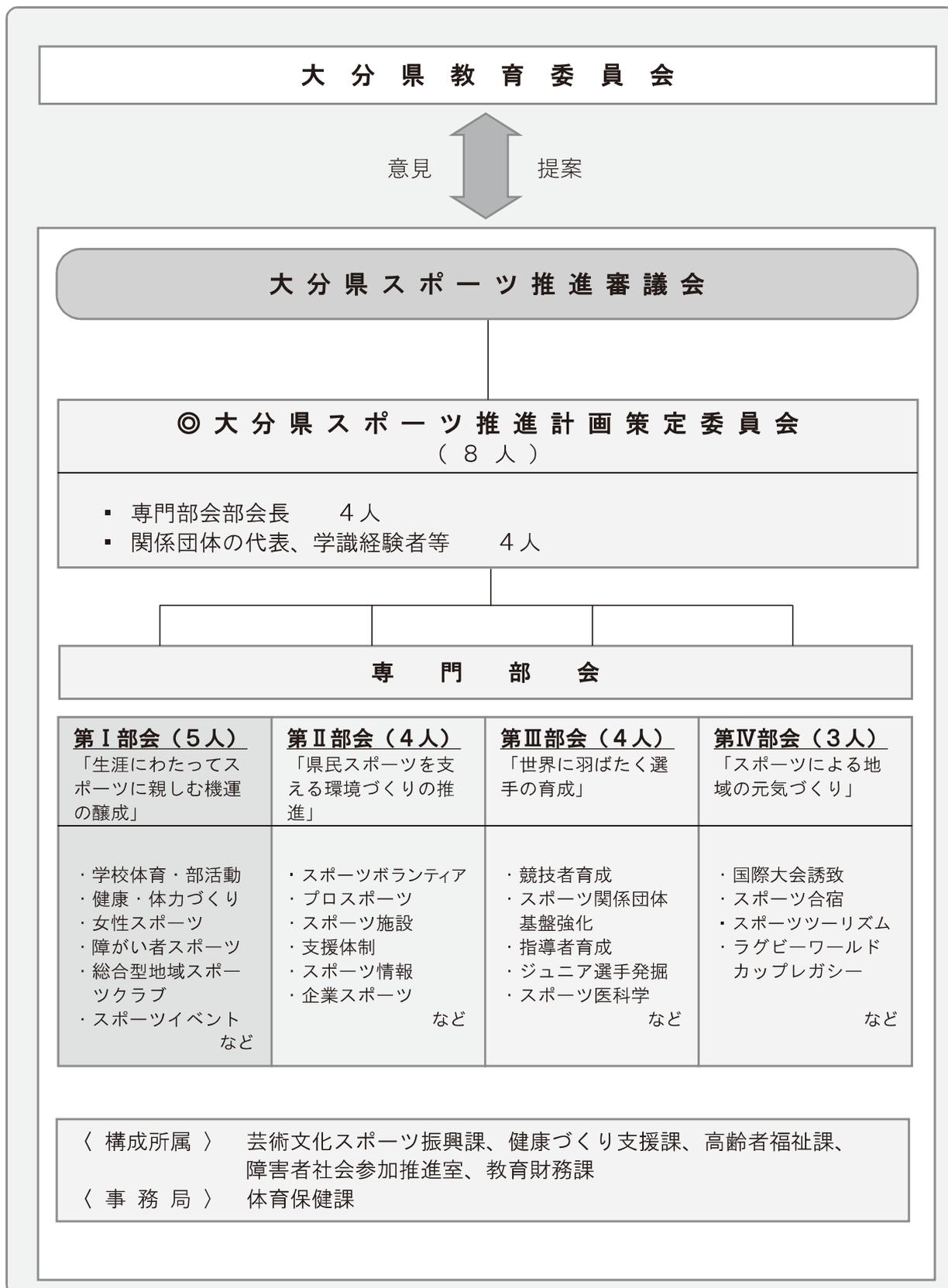
| 分野 | 分野別政策 | |
|--------|-------|--|
| 安 心 | ① | 一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～ |
| | ② | 健康長寿・生涯現役社会の構築 ～健康寿命日本一の実現～ |
| | ③ | 障がい者が安心して暮らせる社会づくりと障がい者雇用率日本一の実現 |
| | ④ | 恵まれた環境の未来への継承 ～おおいたうつくし作戦の推進～ |
| | ⑤ | 安全・安心を実感できる暮らしの確立 |
| | ⑥ | 人権を尊重し共に支える社会づくりの推進 |
| | ⑦ | 多様な主体による地域社会の再構築 |
| | ⑧ | 強靱な県土づくりと危機管理体制の充実 |
| | ⑨ | 移住・定住の促進 |
| 活 力 | ⑩ | 挑戦と努力が報われる農林水産業の実現 |
| | ⑪ | 活力と変革を創出する産業の振興 |
| | ⑫ | 地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興 |
| | ⑬ | 海外戦略の推進 |
| | ⑭ | 大分県ブランド力の向上 |
| | ⑮ | いきいきと、多様な働き方ができる環境づくり |
| | ⑯ | 女性が輝く社会づくりの推進 |
| | ⑰ | 活力みなぎる社会づくりの推進 |
| 発 展 | ⑱ | 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造 |
| | ⑲ | 芸術文化による創造県おおいたの推進 |
| | ⑳ | スポーツの振興 |
| | ㉑ | 「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実 |

県長期総合計画における政策目標とスポーツ推進計画の施策の関連性整理表

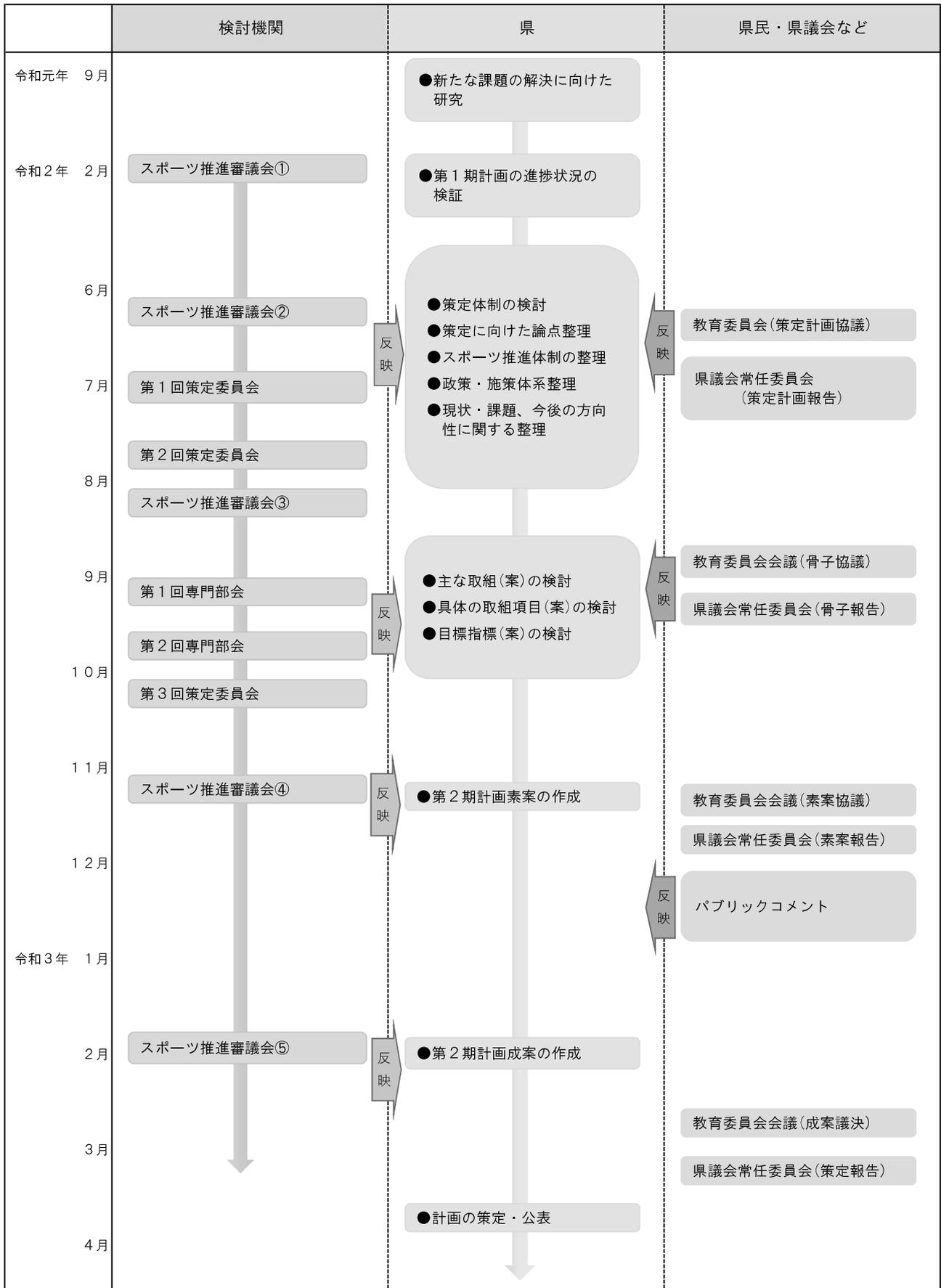
| | | 県長期総合計画の政策目標 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|---------------------|----------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| | | スポーツ推進計画における施策 | | | | | | |
| 基本目標Ⅰ | 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成 | 1 ライフステージに応じたスポーツの推進 | | | | | | |
| | | (1) 幼児期・少年期におけるスポーツの推進 | |  | | |  | |
| | | (2) 青年・壮年期におけるスポーツの推進 | |  | | | | |
| | | (3) 高齢期におけるスポーツの推進 | |  | | | | |
| | | (4) ライフステージに応じたスポーツイベントの推進 | |  | | | | |
| | | 2 誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | | (1) 障がい者スポーツの推進 | | |  | | | |
| | | (2) 女性のスポーツ活動の推進 |  |  | | | |  |
| | | 3 総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | | (1) 総合型地域スポーツクラブの推進 |  |  |  | | | |
| 基本目標Ⅱ | 県民スポーツを支える環境づくりの推進 | 1 「みる」「ささえる」スポーツの充実 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | | (1) 「みる」「ささえる」スポーツの推進 | | |  | | |  |
| | | (2) スポーツボランティア活動の推進 | |  | | | |  |
| | | 2 スポーツ活動の場の充実 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | | (1) 地域の特性を活かした活動の場の充実 | | | |  | | |
| | | (2) 学校 体育施設の充実と有効活用 | | |  | | | |
| | | (3) スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備 | | |  | | | |
| | | 3 スポーツを支える組織や体制、仕組の充実 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | | (1) スポーツ情報の収集と提供 | |  |  | | | |
| | | (2) 行政組織の連携とスポーツ関係団体の充実 | |  | | | | |
| (3) 企業におけるスポーツ活動の推進 | |  |  | | | | | |
| (4) スポーツに関する顕彰制度の充実 | | |  | | | | | |
| 基本目標Ⅲ | 世界の育成に羽ばたく | 1 世界に羽ばたく選手の育成 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | | (1) 競技力向上のための組織の整備・充実 | | | | | | |
| | | (2) 競技力向上に向けた指導体制の充実・強化 | | | | | | |
| | | (3) 競技力向上に向けた発掘・育成・強化の推進 | | | | | | |
| | | (4) 競技力向上に必要な諸条件の整備 | | | | | | |
| 基本目標Ⅳ | 地域の元気づくり | 1 スポーツによる地域の元気づくり | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | | (1) 国際スポーツ大会等の誘致 | | | | | |  |
| | | (2) スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進 | | | | | |  |
| | | (3) ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承 | | | | | |  |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ | ㉑ |
| | | | | | | |  | | | |  | |  | |
| | | | | | | | | | | | | |  | |
| | | | | | | | | | | | | |  | |
| | | | | | | | | | | | | |  | |
| ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ | ㉑ |
| | | | | | | |  |  | | |  | |  | |
| | | | | | | | | | | |  | |  | |
| ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ | ㉑ |
|  |  | | |  | | | | |  | |  | |  | |
| ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ | ㉑ |
|  | | | | |  |  | | |  |  |  | |  | |
|  | | | | | | | | | | |  | |  | |
| ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ | ㉑ |
| | | | | |  | | | | |  | | |  |  |
| | | | | | | | | | | | | |  | |
| | | | | | | | | | | |  | |  | |
| ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ | ㉑ |
| | | | | | | | | | | | | |  | |
|  |  | | | | | | | |  | |  | |  | |
| | | | | | | | | |  |  | | |  | |
| | | | | | | | | | | | | |  | |
| ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ | ㉑ |
| | | | | | | | | | | | | |  | |
| | | | | | | | | | | | | |  | |
| | | | | | | | | | | | | |  | |
| | | |  | | | | | | | | | |  | |
| ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ | ㉑ |
| | | |  | |  |  |  | |  |  |  | |  | |
| | | |  | |  |  |  | |  |  |  | |  |  |
| | | |  | |  |  |  | |  |  |  | |  | |

■ 計画の策定体制



策定の経緯



大分県スポーツ推進計画策定委員会委員名簿

(五十音順、敬称略)

(団体・役職名は令和3年3月時点)

| NO | 団体・役職名 | 氏名 | 備考 |
|----|--|--------|-----------------|
| 1 | (公財)大分県スポーツ協会 事務局長 | 伊藤 健一 | |
| 2 | 大分大学 名誉教授 (社会学) | 大杉 至 | |
| 3 | 日本文理大学経営経済学部 准教授 (体育経営管理学) | 竹田 隆行 | 副委員長 |
| 4 | 大分大学教育学部 教授 (スポーツ社会学) | 谷口 勇一 | 委員長 (審議会副会長) |
| 5 | (公社)ツーリズムおおいた 専務理事 | 土谷 晴美 | |
| 6 | 大分県栄養士会スポーツ栄養研究会 代表 | 銅城 順子 | |
| 7 | (一財)大分陸上競技協会 強化部長 | 羽田野 明美 | |
| 8 | 別府大学食物栄養科学部食物栄養学科 教授 (スポーツ科学・応用健康学) | 吉村 良孝 | |

大分県スポーツ推進計画策定委員会専門部会委員名簿

(五十音順、敬称略)
(団体・役職名は令和3年3月時点)

【第Ⅰ部会】基本目標Ⅰ 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成

| NO | 団体・役職名 | 氏名 | 備考 |
|----|-------------------------------|--------|-----|
| 1 | 大分県フロアホッケー協会 事務局長 | 安部 尚哉 | |
| 2 | (公財)大分県スポーツ協会 総合型クラブアドバイザー | 鈴田 夢希 | |
| 3 | 大分県中学校体育連盟 理事長 | 高橋 秀幸 | |
| 4 | (一財)大分陸上競技協会 強化部長 | 羽田野 明美 | |
| 5 | 別府大学食物栄養科学部食物栄養学科 教授 | 吉村 良孝 | 部会長 |

【第Ⅱ部会】基本目標Ⅱ 県民スポーツを支える環境づくりの推進

| NO | 団体・役職名 | 氏名 | 備考 |
|----|--|--------|-----|
| 1 | 大分三好ヴァイセアドラー マーケティングマネージャー | 工藤 真一郎 | |
| 2 | 別府市教育委員会スポーツ健康課 課長 | 杉原 勉 | |
| 3 | 日本文理大学経営経済学部 准教授 | 竹田 隆行 | 部会長 |
| 4 | NPO法人総合型地域スポーツクラブ わっしょいUSAクラブ クラブマネージャー | 宮崎 啓子 | |

【第Ⅲ部会】基本目標Ⅲ 世界に羽ばたく選手の育成

| NO | 団体・役職名 | 氏名 | 備考 |
|----|-------------------------------------|-------|-----|
| 1 | (公財)大分県スポーツ協会 事務局長 | 伊藤 健一 | 部会長 |
| 2 | 大分県栄養士会スポーツ栄養研究会 代表 | 銅城 順子 | |
| 3 | 大分県競技力向上対策本部 ジュニア発掘プロジェクト委員会 委員長 | 松元 義人 | |
| 4 | 大分県競技力向上スーパーコーチ | 村上 幸生 | |

【第Ⅳ部会】基本目標Ⅳ スポーツによる地域の元気づくり

| NO | 団体・役職名 | 氏名 | 備考 |
|----|----------------------|-------|-----|
| 1 | (公社)ツーリズムおおいた 専務理事 | 土谷 晴美 | 部会長 |
| 2 | (株)テレビ大分 制作部長 | 松浦 芳弘 | |
| 3 | 昭和電工武道スポーツセンター センター長 | 蓑田 智通 | |

■ 県民のスポーツに関する実態調査の概要

1 調査の目的

『第2期大分県スポーツ推進計画』を令和3年3月に策定するにあたり、県民の各年齢層に対して運動・スポーツに関する実施状況や意識を調査することで、第1期計画（H21～R2）における実施施策を評価するとともに第2期計画における課題を明確にする。

2 調査の実施概要

- (1) 調査方法
- (2) 調査地域
- (3) 調査対象
- (4) 標本設定

郵送法による質問紙調査法

大分県全市町村

県内在住する10歳以上の男女

① 標本数

6,598人

② 抽出方法

県内全域を対象に住民基本台帳から確立比率2段階抽出法により無作為に抽出した。最終的な各市町村及び各年齢層の抽出数は表1のとおり。

(小学生、中学生、高校生については、上記数を基準とし県教委が抽出した学級を対象に調査を実施した。)

表1 調査における各市町村及び各年齢層の抽出数一覧

| 市町村名 | 人口 | 人口比率 | 児童・生徒標本数 | | | 年代別標本数 | | | | | | | 総標本数 |
|-------|-----------|-------|----------|-----|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | | | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 18～28歳 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | |
| 大分市 | 477,247 | 0.422 | 164 | 112 | 120 | 280 | 280 | 280 | 280 | 280 | 280 | 280 | 2,356 |
| 別府市 | 117,658 | 0.104 | 48 | 39 | 40 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 687 |
| 中津市 | 82,917 | 0.073 | 33 | 28 | 40 | 58 | 58 | 58 | 58 | 58 | 58 | 58 | 507 |
| 日田市 | 62,654 | 0.055 | 22 | 35 | 40 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 405 |
| 佐伯市 | 67,589 | 0.060 | 26 | 31 | 40 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 447 |
| 臼杵市 | 36,422 | 0.032 | 13 | 28 | 40 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 263 |
| 津久見市 | 16,060 | 0.014 | 14 | | | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 98 |
| 竹田市 | 20,222 | 0.018 | 7 | 7 | 40 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 152 |
| 豊後高田市 | 22,061 | 0.020 | 12 | 7 | | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 131 |
| 杵築市 | 28,288 | 0.025 | 10 | 24 | 40 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 214 |
| 宇佐市 | 53,602 | 0.047 | 19 | 26 | 40 | 38 | 38 | 38 | 38 | 38 | 38 | 38 | 351 |
| 豊後大野市 | 33,644 | 0.030 | 13 | 12 | | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 193 |
| 由布市 | 33,047 | 0.029 | 13 | 32 | 40 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 253 |
| 国東市 | 26,362 | 0.023 | 11 | 19 | | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 170 |
| 姫島村 | 1,774 | 0.002 | 4 | | | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 46 |
| 日出町 | 27,966 | 0.025 | 29 | 22 | | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 191 |
| 九重町 | 8,827 | 0.008 | 5 | | | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 61 |
| 玖珠町 | 14,598 | 0.013 | 3 | | | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 73 |
| 合計 | 1,130,938 | 1 | 446 | 422 | 480 | 750 | 750 | 750 | 750 | 750 | 750 | 750 | 6,598 |

(5) 調査項目

調査は、18歳以上の一般県民を対象とした「成人調査」と小学生、中学生、高校生を対象とした「児童・生徒調査」の2種類を実施した。各調査における調査項目は表2のとおり。

表2 「成人調査」、「児童・生徒調査」の調査項目

| A 票：成人者・大学生等調査 | | B 未成人者調査 | |
|---------------------------------|--|----------------------------|--|
| I 回答者属性 | | I 回答者属性 | |
| (1) 居住市町村 | | (1) 性別 | |
| (2) 性別 | | (2) 居住市町村 | |
| (3) 年齢 | | (3) 学校名 | |
| (4) 職業 | | | |
| (5) 継続居住年数 | | | |
| II 運動・スポーツの実施状況 | | II 運動・スポーツに関すること | |
| (6) 過去1年間に実施した運動・スポーツ | | (4) 運動・スポーツ愛好度 | |
| (7) 「する」スポーツの愛好度 | | (5) 好きな理由（愛好群追加項目） | |
| (8) 「みる」スポーツの愛好度 | | (6) 嫌いな理由（非愛好群追加項目） | |
| (9) 民間・地域スポーツ（レクリエーション）サークル所属状況 | | (7) 嫌いになった時期（非愛好群追加項目） | |
| (10) 所属クラブの属性（所属群追加項目） | | (8) 過去1年間の授業以外の運動・スポーツ実施頻度 | |
| (11) 過去1年間の運動・スポーツ実施頻度 | | (9) 今後の授業以外の運動・スポーツ実施希望頻度 | |
| (12) 1回当たりの実施時間（実施群追加項目） | | (10) 今後取り組みたい運動・スポーツの内容 | |
| (13) 運動・スポーツの実施理由（実施群追加項目） | | (11) RWC2019に対する感想 | |
| (14) 今後に向けた運動・スポーツ実施希望頻度 | | (12) 東京オリ・パラへの期待度 | |
| (15) 今後取り組みたい運動・スポーツの内容 | | (13) 過去1年間のスポーツボランティア活動実績 | |
| (16) 運動・スポーツの阻害要因 | | (14) 今後のスポーツボランティア実施意向 | |

| | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| Ⅲ 運動・スポーツに関する各種意識 | Ⅲ 学校生活に関すること |
| (17) 運動・スポーツに関して取得を希望する情報項目 | (15) 体育授業の好き・嫌い |
| (18) 現在の運動・スポーツ情報の取得手段 | (16) 放課後時間の過ごし方 |
| (19) スポーツを振興させるために必要な事柄 | (17) 取り組んでいるスポーツ種目（実施群追加） |
| (20) 過去1年間の県内プロチームの試合の観戦実績 | (18) 実施種目から得る楽しさの度合い（実施群追加） |
| (21) 観戦したプロスポーツチーム（観戦群追加項目） | (19) 実施種目の継続意向（実施群追加） |
| (22) 県内プロスポーツチームへの応援・関心度 | (20) 体力に対する自信度 |
| (23) 応援している県内プロスポーツチーム | (21) 体育授業で好きな領域 |
| (24) 過去1年間の障がい者スポーツ観戦実績 | (22) 家族との運動・スポーツ実施状況 |
| (25) RWC2019に関する感想 | (23) 教科学習（勉強）愛好度 |
| (26) 東京オリ・パラへの期待度 | |
| (27) 過去1年間のスポーツボランティア活動実績 | |
| (28) ボランティアの活動内容（実施群追加項目） | |
| (29) ボランティアへの報酬の考え方（実施群追加項目） | |
| (30) 今後のスポーツボランティア実施意向 | |
| (31) 本県の競技力向上のために必要な環境 | |
| Ⅳ 居住地域内のスポーツ事情 | Ⅳ スポーツに対する関心度 |
| (32) 総合型クラブの認知状況 | (24) 過去1年間の県内プロチームの試合の観戦実績 |
| (33) 居住地域における総合型クラブの設立状況 | (25) 観戦したプロスポーツチーム（観戦群追加項目） |
| (34) 総合型クラブの活動状況評価（保有群追加項目） | (26) 県内プロスポーツチームへの応援・関心度 |
| (35) 総合型クラブの地域貢献度評価（保有群追加項目） | (27) 応援している県内プロスポーツチーム |
| (36) 総合型クラブの設立希望（未保有群追加項目） | (28) 過去1年間の障がい者スポーツ観戦実績 |
| (37) 総合型クラブへの運営協力意向（未保有群追加項目） | (29) 総合型クラブへの加入意向 |
| (38) 居住地域における過去数年間の状況変化 | (30) 総合型クラブの認知状況 |
| (39) 総合型クラブへの加入意向 | |
| (40) 地域における運動・スポーツの促進に必要な取組 | |
| Ⅴ 日常生活で感じていること等 | Ⅴ 日常生活で感じていること等 |
| (41) 現在の生活への満足度 | (31) 居住地域への愛着度 |
| (42) 現在の幸福度 | (32) 朝食の摂取習慣 |
| (43) 現在の生活での活力度 | (33) 児童期の外遊び経験 |
| (44) 居住地域への愛着度 | (34) 運動・スポーツをすることの意味 |
| (45) 児童・生徒のスポーツ実施に対する考え方 | (35) 現在の生活への満足度 |
| (46) スポーツが子供に与える影響 | (36) 現在の幸福度 |
| | (37) 現在の生活での活力度 |

(6) 調査期間 令和2年5月30日～6月24日

3 調査の企画及び実施

- (1) 企画 大分県教育庁体育保健課
(2) 実施 九州地区地域スポーツ研究会（代表者 大分大学教育学部教授 谷口 勇一）

4 標本特性

回収された標本数は「成人調査」と「児童・生徒調査」をあわせて、3,195部（回収率48.4%）であったが、無回答標本等を削除した最終部数は3,192部となり、有効回収率は48.4%となった。

「成人調査」「児童・生徒調査」の各有効回収数及び率は表3、表4のとおり。

表3 成人調査の標本回収状況

| 市町村名 | 対象人数 | 回収数 | 回収率 |
|-------|-------|-------|------|
| 大分市 | 1,960 | 696 | 35.5 |
| 別府市 | 560 | 181 | 32.3 |
| 中津市 | 406 | 151 | 37.2 |
| 日田市 | 308 | 114 | 37.0 |
| 佐伯市 | 350 | 112 | 32.0 |
| 臼杵市 | 182 | 62 | 34.1 |
| 津久見市 | 84 | 25 | 29.8 |
| 竹田市 | 98 | 39 | 39.8 |
| 豊後高田市 | 112 | 41 | 36.6 |
| 杵築市 | 140 | 50 | 35.7 |
| 宇佐市 | 266 | 91 | 34.2 |
| 豊後大野市 | 168 | 55 | 32.7 |
| 由布市 | 168 | 72 | 42.9 |
| 国東市 | 140 | 46 | 32.9 |
| 姫島村 | 42 | 30 | 71.4 |
| 日出町 | 140 | 44 | 31.4 |
| 九重町 | 56 | 20 | 35.7 |
| 玖珠町 | 70 | 28 | 40.0 |
| | 5,250 | 1,857 | 35.4 |

表4 児童・生徒調査の標本回収状況

| | 市町村名 | 対象人数 | 回収数 | 回収率 |
|----|-------|-------|-------|-------|
| 大分 | 大分市 | 396 | 416 | 105.1 |
| | 臼杵市 | 81 | 58 | 71.6 |
| | 津久見市 | 14 | 18 | 128.6 |
| | 由布市 | 85 | 75 | 88.2 |
| | 別府市 | 127 | 125 | 98.4 |
| | 杵築市 | 74 | 56 | 75.7 |
| | 国東市 | 30 | 41 | 136.7 |
| | 姫島村 | 4 | 4 | 100.0 |
| | 日出町 | 51 | 66 | 129.4 |
| | 中津市 | 101 | 99 | 98.0 |
| 中津 | 豊後高田市 | 19 | 23 | 121.1 |
| | 宇佐市 | 85 | 88 | 103.5 |
| 日田 | 日田市 | 97 | 84 | 86.6 |
| | 九重町 | 5 | 6 | 120.0 |
| | 玖珠町 | 3 | 7 | 233.3 |
| 佐伯 | 佐伯市 | 97 | 94 | 96.9 |
| | 竹田市 | 54 | 37 | 68.5 |
| 竹田 | 豊後大野市 | 25 | 41 | 164.0 |
| | | 1,348 | 1,338 | 99.3 |

用 語 解 説

| 索引 | 用語名 | 解説 | 掲載ページ |
|-----|-------------------|---|------------|
| アー | アーバンスポーツ | 広い場所を必要としない、市街地などでも行えるスケートボード、ブレイクダンス等のプロスポーツへの道が開かれているスポーツのこと。 | 17 |
| アク | アクティブ・チャイルド・プログラム | 平成 22 年度に文部科学省が日本体育協会に委託し作成した、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きや身体を操作する能力を獲得し、高めるための運動プログラムのこと。 | 11 |
| アタ | 新しい公共 | 地域の住民や NPO 法人が主体となり公共サービスを提供すること。 | 22, 23 |
| アップ | アプローチカリキュラム | 小学校就学前の幼児が円滑に小学校の生活や学習へ対応できるようにするとともに、幼児期の学びが小学校の生活や学習に生かされてつながるように工夫された 5 才児のカリキュラムのこと。 | 10 |
| イク | 育成母集団 | 保護者や地域の人々等のスポーツ少年団活動を支える母体となる集団のこと。 | 11 |
| イツ | 一貫指導体制 | 指導を効果的に実施するために、指導者やサポートする各種役割のスタッフなどの人的資質、競技・練習の施設・用具などの物的資質、指導資源、さらにはそれらを有機的に連携させて運営してゆくマネジメント機能を一体的に組み合わせて、育成・強化を最適化して実行してゆく総体的な仕組みのこと。 | 8, 42, 43 |
| オオ | 大分県競技力向上スーパーコーチ | 全国トップレベルのチーム・選手を育成した実績を持ち、その経験や知識を生かして指導者全体の指導力向上を図ることを目的として、公益財団法人大分県スポーツ協会が指定する県内の優秀指導者のこと。 | 39 |
| オク | お口元気体操 | 楽しくおいしく食べるための準備体操で、上肢や肩、首等を動かすことで咀嚼や嚥下の機能を高める体操のこと。 | 15 |
| キョ | 競技者育成プログラム | スポーツに初めて出会うジュニア期からトップレベルにいたるすべての過程で、競技者の特性や発育・発達段階を適切に把握し、それぞれの段階に応じた最適なトレーニングを行うことによって、競技者の有する資質、能力を最大限に引き出すことを目的としたプログラムのこと。 | 43 |
| ケン | 健康経営事業所 | 従業員の健康づくりを通じて、従業員の活力向上や生産性等の組織の活性化を図り、会社の利益を生もうとする経営方針を持った事業所のこと。 | 12, 13, 37 |
| ケン | 健康アプリ「おおいた歩得」 | 健康増進を目的として、日常のウォーキングや健診などによって健康ポイントが付与され、ポイントが貯まると大分県内の協力店で特典が受けられる、大分県が提供するアプリのこと。 | 12, 13 |
| ケン | 健康寿命 | 健康な状態で過ごすことのできる期間。国民生活基礎調査から算出した「日常生活に制限のない期間の平均」を指標として用いるもの。 | 14, 35 |
| コウ | 広域スポーツセンター | 総合型地域スポーツ創設・育成を支援するとともに、県民のスポーツ振興を目的として事業を行う機関のこと。 | 22, 23 |
| コウ | 公認スポーツ指導者 | 各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上を図り、指導体制を確立するため、公益財団法人日本スポーツ協会が認定する資格のこと。 | 20, 40 |
| ジュ | 住民主体の通いの場 | 高齢者が定期的に集まり、体操や趣味活動などを通じて、介護予防活動を自主的に行う取組。 | 14 |
| スタ | スタートカリキュラム | 小学校入学当初において、幼児期の遊びや生活を通して育まれてきたことが、教科等の学習に円滑に接続できるよう、生活科を中心に合科的・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定などが工夫された指導計画のこと。 | 10 |
| スポ | スポーツ団体ガバナンスコード | スポーツの価値を毀損しかねない不祥事の発生を防ぎ、スポーツ団体が適切な組織運営を行うための原則・規範としてスポーツ庁が策定したガイドラインのこと。 | 1, 35 |

| 索引 | 用語名 | 解説 | 掲載ページ |
|----|--------------------------|---|---|
| スポ | スポーツ医科学 | スポーツを医学的（ドクター等）・科学的（トレーナー・栄養士等）な見地から多面的に研究するとともに、これらの知識や研究成果をスポーツ活動に応用し、機能的能力の維持増進、競技力向上を図ることを目的とするもの。 | 10, 32, 36, 44 |
| スポ | スポーツ少年団 | 公益財団法人日本スポーツ協会に属し、スポーツによる青少年の健全育成を目的として、主たるスポーツ以外にも、野外活動、地域行事への参加、奉仕活動などを行っているスポーツ団体。 | 10, 11, 16, 24, 25, 37, 40 |
| スポ | スポーツ情報システム | 誰もがいつでも運動に親しむことができるよう、居住地域の近隣のスポーツ施設、スポーツサークル、スポーツイベント等の情報をウェブ上で検索できるシステムのこと。 | 34 |
| スポ | スポーツ推進委員 | スポーツ基本法に基づき、市町村のスポーツを推進するために市町村教育委員会（特定地方公共団体にあつてはその長）が委嘱する非常勤の公務員で、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整、住民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を役割としている。 | 17, 36 |
| スポ | スポーツドクター | 競技者の健康管理、スポーツ外傷・障害の診断、治療、予防、研究等にあたるため、公益財団法人日本スポーツ協会が認定した医師のこと。 | 44 |
| スポ | スポーツトレーナー | 競技者の安全・健康管理、スポーツ外傷・障害の予防、救急対応、体カトレーニング、コンディショニング等にあたるため、公益財団法人日本スポーツ協会が認定したトレーナーのこと。 | 44 |
| スポ | スポーツデンティスト | 競技者の健康管理、歯科口腔領域におけるスポーツ外傷・障害の診断、治療、予防、研究等にあたるため、公益財団法人日本スポーツ協会が認定した歯科医師のこと。 | 44 |
| スポ | スポーツ栄養士 | 地域におけるスポーツ活動現場や都道府県レベルの競技者育成において、競技者の栄養・食事に関する専門的視点からの支援等、栄養サポートを行うため、公益財団法人日本スポーツ協会が認定した栄養士のこと。 | 44 |
| スポ | スポーツファーマシスト | 競技者や指導者に対する正しい薬の使い方の指導、教育現場におけるドーピング防止教育の推進を目的として、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が認定した薬剤師のこと。 | 44 |
| スマ | スマートデバイス | 心拍・血圧・睡眠データの管理をはじめとして様々な用途に使用可能なスマートフォン、タブレット、スマートウォッチなど端末のこと。 | 43 |
| ゼン | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 | 子どもの体力の状況を把握・分析し、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証・改善するため、全国の小5、中2を対象にスポーツ庁が実施する調査のこと。 | 9, 11 |
| ソウ | 総合評価C以上 | 体力・運動能力調査8種目の項目別得点（記録を1点～10点の得点で評価）の合計値を5段階（A～E）に分けて評価した中のA～C段階（上位3ランク）評価のこと。 | 11 |
| ソウ | 総合型地域スポーツクラブ （総合型クラブ） | 学校や公民館など身近な施設を拠点として、子どもから高齢者まで、それぞれの興味・関心に応じてスポーツを中心に様々な活動を行うクラブのこと。 | 7, 10, 11, 13, 15, 16, 17, 18, 21, 22, 23, 24, 25, 29, 37, 43 |
| ソウ | 総合型クラブおおいたネットワーク | 県内で活動する総合型地域スポーツクラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図ることを目的として設立された組織のこと。 | 23 |
| チイ | 地域の介護予防活動支援マニュアル | 地域で介護予防に取り組む活動を支援するために、県が専門職の協力を受け作成したマニュアルのこと。 | 15 |
| チュ | 中間支援組織 | 都道府県体育（スポーツ）協会等が主体となり、都道府県のクラブ間ネットワークと連携・協働して総合型クラブの自立的な運営の促進に向けた支援を担う組織のこと。 | 22, 23 |

| 索引 | 用語名 | 解説 | 掲載ページ |
|----|--------------------------|--|------------|
| デフ | デフリンピック | 4年に1度、世界規模で行われる聴覚障がい者のための総合スポーツ競技大会のこと。 | 19 |
| トウ | 登録・認証制度 | 総合型地域クラブが行政等とパートナーシップを構築し、公益的な事業体としての役割を果たすことを目的として令和4年度から導入されるライセンス制度のこと。 | 22, 23 |
| ドウ | 動作分析 | スポーツ選手の技術向上や障害予防を目的として、測定機器を使用して競技者の動作を客観的に分析し、課題や改善方法を明らかにしていくこと。 | 43 |
| ドー | ドーピング | スポーツにおいて禁止されている物質や方法によって競技能力を高め、意図的に自分だけが優位に立ち、勝利を得ようとする行為のこと。 | 44 |
| ネー | ネーミングライツ | 公共施設の名前（愛称）を付与する命名権と、付帯する諸権利のこと。 | 37 |
| フィ | フィジカルサポート | 筋力・持久力・柔軟性・バランスなどの身体機能の測定・評価と、それに基づき行われるコンディショニングやトレーニングの指導のこと。 | 44 |
| ヘル | ヘルスプロモーター制度 | 地域における健康増進・スポーツ実施率向上に向け、体力測定や運動指導を行うことのできる人材を大分県教育委員会が育成し、認定する制度のこと。 | 23 |
| フレ | フレイルチェックシート | 高齢者が、加齢に伴う健康状態の変化に気づき、フレイル（虚弱）の予防につなげるためのチェックシート | 15 |
| ミン | みんなで延ばそう健康寿命延伸月間 | 健康寿命日本一を目指し、県内各地の健康づくりイベント等の開催を通じ、県民総ぐるみの健康づくりを推進する月間（10月）のこと。 | 13 |
| メジ | めじろん元気アップ体操（運動機能向上プログラム） | 元気な高齢者はさらにいきいきと、介護が必要になった高齢者も再び元気になって自分らしい人生を送れることを目的に大分県で作成した筋力アップ効果の高い介護予防体操のこと。 | 14, 15 |
| メデ | メディカルチェック | 競技者の障害の予防、トレーニング効果を上げることを目的として行う、問診・診察・血圧測定・血液検査・尿検査・身体計測・心電図・運動負荷心電図・レントゲン検査などの医学的検査のこと。 | 44 |
| メモ | メモリアルギャラリー | 本県で開催した、2002FIFAワールドカップ、チャレンジ！おおいた国体・チャレンジ！おおいた大会、ラグビーワールドカップ2019等に関連する展示を行うため、昭和電工ドーム大分内に設置したギャラリーのこと。 | 50, 51 |
| ユニ | ユニバーサルデザイン | 「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や性別、身体能力、国籍や文化など人々の様々な特性や違いを超えて、すべての人が利用しやすく、すべての人に配慮したまちづくりやものづくり、仕組づくりを行うという考え方。 | 30, 31, 32 |
| ユニ | ユニバーサルスポーツ | 様々な個性や能力に関わらず、あらゆる人にとって安心して楽しめるスポーツのこと。 | 16, 32 |
| ユル | ゆるスポ | 年齢、性別、運動能力にかかわらず誰もが楽しみながら活動できることを目的として考案されたスポーツ種目のこと。 | 11 |
| ユル | ゆる部活 | 競技志向ではなく、友人たちと適度な頻度で様々なスポーツを楽しむ行う中学校・高校の運動部活動のこと。 | 21 |
| ラン | ランチタイムフィットネス | 昼休みに職場の中で集団で行う健康や体力の維持・向上を目的とした運動のこと。 | 37 |
| ワー | ワールドマスターズゲームズ2021 | 国際マスターズゲームズ協会が4年ごとに開催する、概ね30歳以上であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会のこと。2021大会は関西エリアで開催される。 | 1 |

第2期 大分県スポーツ推進計画
～チャレンジ! おおいたスポーツプラン2021～

・発行・

大分県教育委員会

大分市府内町3-10-1

大分県教育庁体育保健課

TEL:097-506-5645 FAX:097-506-1812

大分県スポーツ推進計画の全文は、
大分県教育委員会のホームページに
掲載されています。

<https://www.pref.oita.jp>

CHALLENGE!
OITA SPORTS PLAN